

題名 「感謝を伝えたい人」

私が感謝したい人は、見守りをしてきている地域の人たちです。そう思ったきっかけは、学校で先生からボランティアで見守りをする人の話を聞いたからです。見守りをしてきているおじさん達は、誰かに言われてやっているのではなくて、ボランティアで毎日わたしたちの安全を見守ってくれていると聞いて、とても嬉しくなりました。

私は今まで、その地域の人たちはいつもいてくれることが当たり前のように感じていました。先生の話聞いて改めて考えると、見守りのおじさんは、朝と帰りの時間に毎日私たちより早く来てくれていることに気づきました。私ならそれは毎日続けられないかもしれないし、みんなが帰るまでずっと見守っていることも、簡単なようでなかなかできないことだと思いました。

私のおじいちゃんも、昔ボランティアで見守りをしていたそうです。近くの小学校の子どもたちにお手紙をもらって嬉しかったみたいだよとお母さんに教えてもらいました。おじいちゃんは、事故が起こったりしないようにみんなの安全を守っていたんだと思うし、その話を聞いて私は、みんなの役に立つことをしていたおじいちゃんが本当に素敵だと思いました。

それから私は、ボランティアの人たちにしてもらったことを考えてみました。いつもあいさつをしてくれるし、歩道をバラバラになって歩く人や信号が点滅しているのにわたっている人がいたけど、今は少なくなってきたと思います。それはみんなの安全のために、暑い日も寒い日も毎日登下校を見守ってくれていたおかげだったんだと改めて思いました。先生から聞いた話がきっかけで、これは当たり前のことではなくて、毎日そのおじさん達がわたしたちの安全を見守ってくれていたからなんだということに気づくことができました。

私は、今まで地域の人たちがあいさつしてくれていてもちゃんと大きな声であいさつできていなかったり、友だちとのおしゃべりに夢中になってしまっている時がありました。なので、これからは相手に聞こえるくらいの声で言おうと思います。今はまだ恥ずかしくて「いつもありがとうございます」などのお礼の言葉は言えないかもしれないけれど、そのかわりに感謝の気持ちを込めてあいさつしようと思います。そして、いつかありがとうございますと伝えられるようになりたいです。